

しゃかいふくしほうじん ほくじょう  
社会福祉法人いきいき牧場 なごやかハウス  
れいわ ねんど ちいきれんけいすいしんかいぎ ぎじろく  
令和7年度 地域連携推進会議 議事録

1 日時

れいわ ねん がつ にち か  
令和8年2月3日(火) 9:50~11:30

2 場所

さわやかハウス

3 参加者

No.	く ぶん	しよ ぞく 属	しゅつせき 出席
1	りようしゃ 利用者	なごやかハウス	けつせき 欠席
2	りようしゃかぞく 利用者家族	りようしゃ 利用者 ほんじょうじん 補助人	しゅつせき 出席
3	ちいき かんけいしゃ 地域の関係者	きんりん 近隣の 教育関係者	しゅつせき 出席
4	しちやうそんたんとうしゃ 市町村担当者	もりおかししやう 盛岡市 障害福祉課	けつせき 欠席
5	かんりしゃ 管理者	なごやかハウス	しゅつせき 出席
6	ほうじんじむきやく 法人事務局	しょうがいしゃしえんしせつげんきまる 障害者支援施設元気丸より2 めい 名	しゅつせき 出席

4 タイムスケジュール

(1) 構成員・参加者 自己紹介

りようしゃ 利用者さんの だいひやう 代表の方は たいちやうふりやう 体調不良により 急遽欠席となった旨、かんりしゃ 管理者より ほうこく 報告がありました。

(2) 事業所見学

じこしょうかい 自己紹介の あと 後に、にこやかハウス、なごやかハウス、さわやかハウスの じゆん 順に見学 を行いました。

(3) 地域連携推進会議の目的について

(4) なごやかハウスの運営等について

(5) 質疑応答、意見交換

① 「グループホーム内の暖房はどうなっているのでしょうか？」(地域の関係者)

→ しょうぼうしよ 消防署にも かくにん 確認をし、とうゆ 灯油ファンヒーターを しよう 使用してよいこととしていま す。はんしやしき 反射式ストーブの使用は ねが 控えるよう利用者さん へお願いをしています。(なごやかハウス かんりしゃ 管理者)

② 「一般就労から生活保護の方まで、さまざまな生活様式で過ごされる利用者さんがいらっしやると思います。住み続けることができること、そのことが利用者の方みなさんにとってもありがたいことだと思ひます。どんな状況でも生活をつづけることができるよう、一緒に考えていただけるとありがたいです。」(利用者家族)

→ 頂戴したご意見をふまえ、事業を運営してまいります (なごやかハウス  
管理者)

資料 (抜粋)

## 1 地域連携推進会議の目的について

以下を目的に、施設・事業所において、地域の方等の外部の方を構成員とした会議  
体を設置し、会議の開催・構成員による施設訪問を実施します。

- (1) 利用者と地域との関係づくり
- (2) 地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進
- (3) 施設等やサービスの透明性・質の確保
- (4) 利用者の権利擁護

## 2 障害者支援施設元気丸の運営等について

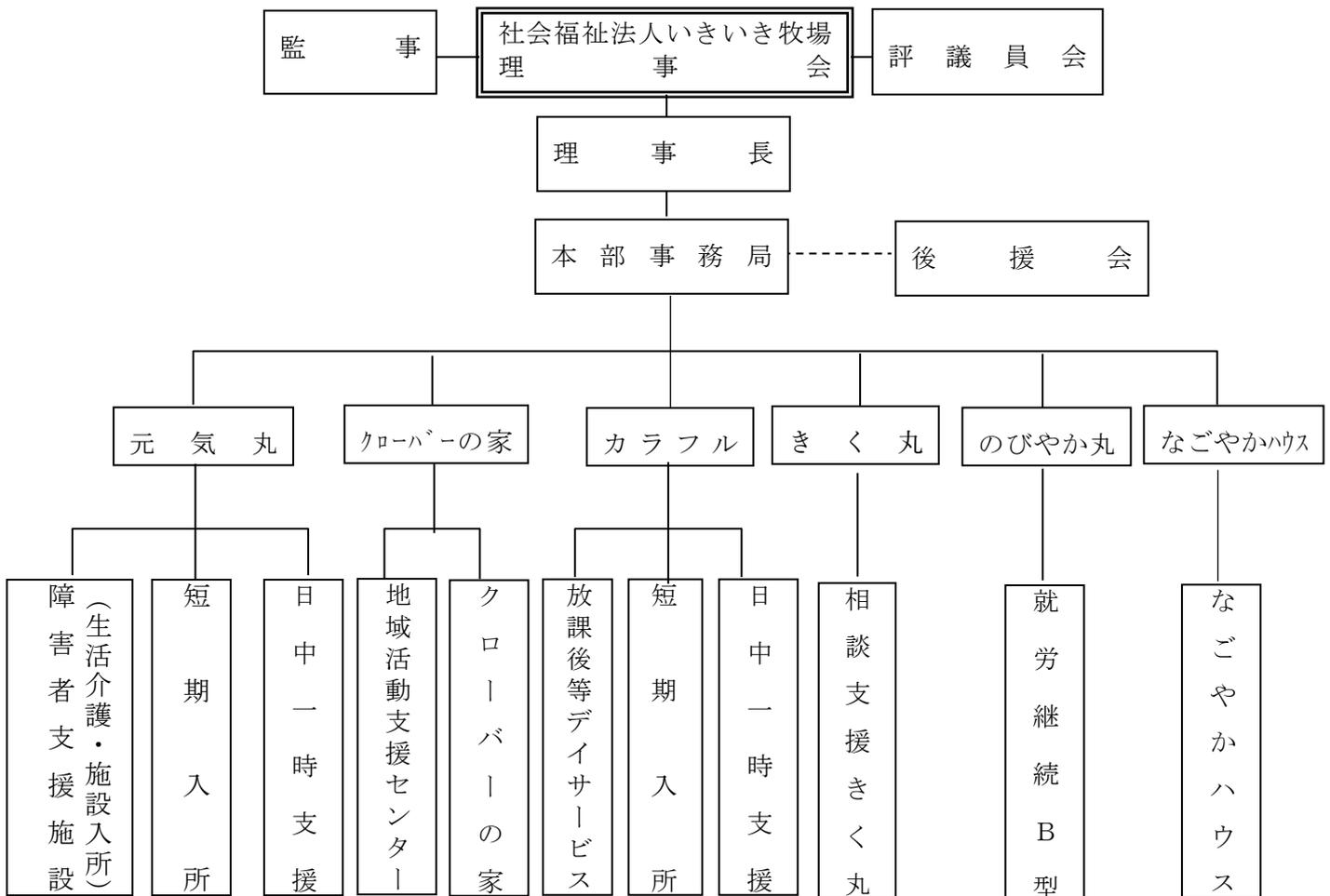
### ○ 施設等・地域の連携、施設等やサービスの透明性と質の確保

#### (1) 法人基本理念・法人組織図

##### ① 社会福祉法人いきいき牧場 基本理念

障がいを持つ人も、健康な人も、老人も、子どもも、共に働き、共に喜び合って暮  
らせる社会の実現を目指してきました。これからも、この基本理念に基づき、障がい  
を持つ人も持たない人も「共に生きる」社会の実現に積極的に取り組んで参ります。

##### ② 法人組織図



(2) なごやかハウス サービス利用契約状況 (令和7年4月1日現在)

	所在地	定員	家賃	食費 (1食)	光熱水費
なごやか ハウス	盛岡市中ノ橋通 二丁目11番19号ハイ ツ中ノ橋	10名	28,000円	朝食 320円	じっぴ 実費 (おおむ ね 10,000 ~ 15,000 円/月)
さわやか ハウス	盛岡市天神町11番25 号I・M天神	11名	25,500 ~31,000円	昼・夕食 380円	
にこやか ハウス	盛岡市茶畑二丁目7 番1号青雲荘	6名	23,500 ~28,000円		

※ 主たる対象者は、精神障害者 (18歳未満の者を除く)。

支援区分	非該当	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
	2	11	11	1	1	0
平均区分	2.46 (前年比-0.04)					
ねん 年 齢	最少齢	最高齢		平均		
	22	71		51.27		

(3) BCP (Business Continuity Plan 事業継続計画) について

- ① 年2回地震と火災を想定した避難訓練を実施。  
自然災害については危険区域外ではあるが、グループホーム周辺が水害危険区域であることから、有事に備え今後水害想定訓練も検討としたい。
- ② 感染症については利用者の皆さんも精神的に不安を抱えやすいことから、集団感染が発生しないよう、常に気を付けて対応している。

(4) 苦情関係

地域で生活していることから、近隣住民の方からの苦情や相談にその都度対応している。近くのコンビニエンスストアの店員の方については、利用者の方々の特性を理解してくれており、何かあれば連絡が入る関係性である。

○ 利用者の権利擁護

(1) 事故関係

この年末年始で転倒による骨折で2名の方の受診対応があり、また食べすぎによる持病の悪化で救急搬送が必要な事例も1名あった。

利用者さんについては入浴やトイレ等の日常生活で自立されている方々であるが、高齢化や重度化により次の生活の場を検討する方もいる状況にある。

(2) 権利侵害・虐待関係

さいわいにも <sup>がいとう</sup> 該当する <sup>じあん</sup> 事案は <sup>ほっせい</sup> 発生していないが、<sup>せわにん</sup> 世話人や <sup>せいかつしえんいん</sup> 生活支援員と <sup>こえ</sup> 声をかけあい  
ながら、<sup>けんりしんがい</sup> 権利侵害に <sup>がいとう</sup> 該当する <sup>こうい</sup> 行為がないよう <sup>どりよく</sup> 努力している。

い じょう  
以 上